

福島県令和6年度当初予算

総合計画前進予算

予算額 1兆2,381億円
(うち復興・創生分 2,394億円)



総合計画前進予算

福島県 令和6年度当初予算
予算額 1兆2,381億円
(うち復興・創生分 2,394億円)

＜これまでの挑戦を更に「シンカ」（進化、深化、新化）させ、
総合計画に掲げた将来の姿の実現に向けた一つ一つの施策を着実に前進＞

複合災害からの復興・ 災害に強い県づくり

- ◆ 事業や営農の再開に加え、双葉地域における中核的病院整備の推進、県立ふたば支援学校の開校など、住民の帰還促進に向け、引き続き、生活再建や生業の再生を最優先に、避難地域の復興を加速
- ◆ 自然災害からの早期復旧はもとより、流域治水への理解醸成や、被災者の実情に応じた迅速な生活再建支援体制の整備のほか、自主防災組織への防災士の参画促進など、自助・共助・公助の一体的な取組により、災害に強い県づくりを推進

人口減少対策

- ◆ 県内企業の人材確保や、看護の魅力発信、働きやすい保育の職場づくり、移住就農者の住環境等に対する支援のほか、首都圏在住者のUターン機運の醸成など、若者の県内定着に向けた『感動！ふくしま』プロジェクトを充実・強化
- ◆ 若手社員等の出会いの場の創出や、若い世代が将来の妊娠・出産や体の変化に備えて健康を管理する「プレコンプレッションケア」の推進など、ライフステージに応じた切れ目のない支援を展開するほか、ウォーキングの促進や働き盛り世代の減塩の実践など、多様な取組により健康づくりを推進

複合災害からの復興 福島ならではの地方創生

横断的な取組（地球温暖化対策、デジタル変革）

- ◆ カーボンニュートラルの実現に向け、環境アプリを活用したライフスタイルの見直しを促すほか、温室効果ガスの削減等を通じて資金を循環させる「J-クレジット」の創出、サプライチェーンも含めた県内企業の脱炭素化を推進
- ◆ 防災アプリの活用を促進するとともに、デジタル化に取り組む商店街への支援や、GPSの位置情報の精度を高めることによるスマート農業の更なる推進、「ふくしまの酒」の製造技術の見える化など、地域産業のデジタル変革を加速



複合災害からの復興・災害に強い県づくり

◆ 事業や営農の再開に加え、双葉地域における中核的病院整備の推進、県立ふたば支援学校の開校など、住民の帰還促進に向け、引き続き、生活再建や生業の再生を最優先に、避難地域の復興を加速

○ 原子力災害被災事業者事業再開等支援事業（商工労働部）	791百万円
○ 福島県営農再開支援事業（農林水産部）	3,254百万円
○ (新) 双葉地域における中核的病院整備事業（病院事業会計）（病院局）	109百万円
○ 双葉地区特別支援学校整備事業（教育庁）	2,342百万円

◆ 自然災害からの早期復旧はもとより、流域治水への理解醸成や、被災者の実情に応じた迅速な生活再建支援体制の整備のほか、自主防災組織への防災士の参画促進など、自助・共助・公助の一体的な取組により、災害に強い県づくりを推進

○ (一部新) 流域治水推進事業（土木部）	3百万円
○ (新) 被災者生活再建支援体制推進事業（危機管理部）	5百万円
○ (一部新) 社会全体で災害に備えるための防災体制強化事業（危機管理部）	17百万円
○ (一部新) 防災対策支援事業（危機管理部）	16百万円



人口減少対策

◆ 県内企業の人材確保や、看護の魅力発信、働きやすい保育の職場づくり、移住就農者の住環境等に対する支援のほか、首都圏在住者のUターン機運の醸成など、若者の県内定着に向けた『感動！ふくしま』プロジェクトを充実・強化

○ (一部新) 『感動！ふくしま』プロジェクト (商工労働部)	430百万円
○ (新) 若者の県内定着のための看護の魅力発信事業 (保健福祉部)	38百万円
○ (新) えがお輝くふくしまの保育支援事業 (こども未来局)	26百万円
○ (新) 農業でふくしまぐらし支援事業 (農林水産部)	91百万円
○ (新) ふくしま若者Uターン促進プロジェクト事業 (企画調整部)	35百万円

◆ 若手社員等の出会いの場の創出や、若い世代が将来の妊娠・出産や体の変化に備えて健康を管理する「プレコンセプションケア」の推進など、ライフステージに応じた切れ目のない支援を展開するほか、ウォーキングの促進や働き盛り世代の減塩の実践など、多様な取組により健康づくりを推進

○ (一部新) 結婚・子育て応援事業 (こども未来局)	376百万円
○ (新) 未来へつながる性と健康の支援事業 (こども未来局)	27百万円
○ (一部新) ふくしま脱メタボプロジェクト事業 (保健福祉部)	106百万円
○ (新) ふくしまおいしく減塩緊急対策事業 (保健福祉部)	63百万円



横断的な取組（地球温暖化対策、デジタル変革）

◆ カーボンニュートラルの実現に向け、環境アプリを活用したライフスタイルの見直しを促すほか、温室効果ガスの削減等を通じて資金を循環させる「J-クレジット」の創出、サプライチェーンも含めた県内企業の脱炭素化を推進

- （一部新）カーボンニュートラル推進事業（生活環境部） 224百万円
- （新）ふくしま森林吸収クレジット推進事業（農林水産部） 0.2百万円

◆ 防災アプリの活用を促進するとともに、デジタル化に取り組む商店街への支援や、GPSの位置情報の精度を高めることによるスマート農業の更なる推進、「ふくしまの酒」の製造技術の見える化など、地域産業のデジタル変革を加速

- （一部新）そなえるふくしま防災事業（危機管理部） 97百万円
- （新）地域商業環境づくり支援事業（商工労働部） 19百万円
- （新）GPS活用によるスマート農業加速化推進事業（農林水産部） 195百万円
- （新）デジタル技術を活用したものづくり企業のスマート化支援事業（商工労働部） 67百万円